

東部 I 地区再編案 B 意見一覧

		学校の規模			学校の配置・通学			小中一貫教育		
		メリット	デメリット	その他	メリット	デメリット	その他	メリット	デメリット	その他
東部 I 地区	河辺小学校	<p>②1学年の数が増える事で、トラブルが起こった時の対処がどうなのか気になる。苦手なクラスになった時、クラス替えて気分が変わることは良い。大人が思うところと子どもが思うところは違いがある。</p> <p>③適正規模</p> <p>④河辺小学区域は良い</p> <p>⑤規模的にも B 案が良いと思う。児童数・生徒数は今後大きく増えるとは思えません。少数よりも大勢で学べる環境を維持することのほうが、児童・生徒にメリットがある気がします。</p> <p>⑥学校規模の観点は、大きな問題は無いと思います。同一地区内で小中一貫校の教育が実現出来るかと思っています。</p>	<p>①子どもや保護者にとってのメリットは、今のところ見つけられません。河辺駅の近くの河辺小の土地を2倍近く広げるのは困難と思われる、校庭と体育館を小中で共用するとしたら、子どもたちの健康な生活を脅かし、事故の心配も出てくるのではないのでしょうか。小学校低学年と中学生では運動能力が違いすぎます。</p> <p>③河辺小と霞台小の学級数に偏りが出るので、均等になるような学区割を考えて欲しい。</p> <p>④若草小の児童に負担がかかる、もし使うなら若草小を使用。</p> <p>⑥共用施設の校庭、体育館など小学1年生の児童と中学3年の生徒との体格差が大きく、安全面を配慮したスペース確保が可能となるか課題があると思います。中学生の部活動が可能となる校庭についても検討が必要かと思っています。</p>		<p>③30分以内の適正配置</p> <p>④河辺小学区域は良い</p> <p>⑤現在の河辺小の位置に小中一貫校を設置するのであれば、通学負担は児童・生徒とも少なくすみ、ベストな位置だと思えます。</p>	<p>①保護者と子どもにとってのメリットは分かりません。再編成で学校を減らすことには賛成ですが、小中学校をまとめることにはデメリットを感じます。</p> <p>③30分以内の適正距離といえども小学1年生には厳しいと感じる。新町3丁目を新町小学区にしたらいかがでしょうか？</p> <p>④若草小の児童に負担がかかる、もし使うなら若草小を使用。</p> <p>⑥学校の位置は、現状土地活用が基本ならば仕方ないと思いますが、片道1.7km25分は小学生1年生～3年生は少し大変かと思えます。幹線道路や青梅線を横断した通学となるので、通学経路の完全面の整備も同時に実施の検討が必要かと思えます。</p> <p>⑦動きが大きく混乱が予想される</p>		<p>③同一校舎で毎日顔を合わせるので、思いやり、交流などを深められるので多に賛成。</p> <p>④出来たら素晴らしいです。</p> <p>⑤施設一体型になり普段から中学生と触れ合うことで、中学生になる時の心構えも自然と身に付いていくのではないかと。</p> <p>⑥先生と児童生徒の信頼関係の構築が強化出来ると思います。小中一貫校にするには、大規模な施設を作るところからです。</p> <p>⑤敷地がひとつになることで、体育等での校庭使用時がどうなるのか気になる。中学生との同時使用だと、体格差が大きいので、万が一の接触などによる怪我が心配されます。</p> <p>⑥『いじめ』や『不登校』の課題も生じると思っています。現場の先生の方々の現場意見も聞きつつ、丁寧に進める事も肝要だと思います。</p> <p>⑦校庭が狭すぎる（多分体育館も）</p>	<p>⑥『施設一体型』を既に実施している先行校の現状の利点や課題も参考にしつつ、検討が大切かと思っています。</p>	
	霞台小学校	<p>③児童数・学年数に問題はないと思います。</p> <p>⑤学校数が減らない</p>	<p>①再編における効果としては、規模・配置・小中一貫教育が良いと思う。しかしながら、私立であれば統一された思いの子どもたちが、学校を選びますが、公立の場合は、色々な素材を持った子どもたちが通うので、施設一体型は望ましくないと思います。</p>	<p>⑤両案とも霞台小学校では1学級の児童・生徒数、1学年の学級数、学校全体の学級数等に大きな差異はないと思います。</p>	<p>②空いた学校の施設・敷地が別途活用できる</p> <p>②一貫教育が推進・徹底できる</p> <p>⑤学校数が減るのはやむを得ない、ある程度学校数を残して区分けが出来ている。</p>	<p>①再編案については良いと思いますが、学区変更が強いられる子どもたちへの配慮が必要かと思えます。</p> <p>②児童・生徒によっては通学負担が増える。</p> <p>③新町3丁目からの通学が不安</p> <p>⑤新青梅街道に面することから、交通量の多さによる事故等の安全面が懸念されます。</p>		<p>②施設一体型で9年間、児童・生徒の成長に合わせた一貫した教育の実践が期待できる。</p> <p>③霞台小と泉中は隣接しているため、このままで良いと思う。</p> <p>④見通しを持った教育や教職員間の連携、施設・運営の効率化など利点。</p> <p>⑤現状のように小学部、中学部を分けた方が、バランスがとれる。</p>	<p>②施設一体型では、現在の2校の児童・生徒が1校に集約されるので、施設の規模の面で人数的に収まるのか？（建替えの予定もあり、その点も考慮していただきたい）また、体力的にも精神的にも小学生と中学生では大きな差異があり、その対応が必要。</p> <p>④すべてを一体型に揃えることが最適解とは限らないと考えます。</p>	<p>①教職員の連携等については、一定の効果が生まれると思えます。しかし、私立なら賛成ですが、公立の場合には施設一体型には反対をいたします。</p>
	若草小学校	<p>④幅広い年齢層との交流が可能となる（小学生の憧れや中学生の思いやりといった社会性が育まれる）。</p> <p>④小学校から中学校への進学がスムーズになり、9年間の学習計画に基づき学習内容のつながりを意識した継続的な指導が可能となる。</p> <p>④学校規模適正化基本方針の望ましい学校規模内であり、一定の集団規模が確保されている。</p> <p>⑥小学校と中学校に進学することは望ましい</p>	<p>④人間関係の固定化（人間関係がこじれた場合の影響が長く続いてしまうなど対策が必要）</p> <p>④小学校高学年のリーダーシップの発揮機会が減少</p> <p>④特別支援学級、先生の配置など規模に対して適正な配置数が確保できるか検討が必要。</p> <p>⑤特別支援学級のような分ける必要のある学級数を含むと、大きくなりすぎてしまう。中学生も一緒に学校全体の学級数が多すぎではないか。同じ敷地で体育館や運動場など使い分けできるのか疑問がある。</p>	<p>③望ましいと思う、現場の先生たちの声を伺うと、1学級20名程度が理想とよく聞きます。この先の更なる変化に対応できるか。</p> <p>⑥中学校進学を選択できるようにするといいいのではないかとと思う。</p>	<p>④小中一貫のため中学生が小学生の見守り（登下校などの通学の安全確保）をすることが可能である。</p> <p>⑤ほぼ学区の中央に位置しているため、通学負担は減る。駅前賑やかな場所から離れ、落ち着いた勉強できる環境にある。</p>	<p>④河辺町8丁目から通学の場合、青梅街道を通学路として通る必要があり、現状以上に低学年など交通安全の見守りが必要である。</p> <p>④新町3丁目からの距離が遠く、通学手段を検討する必要がある。</p> <p>⑥小学生低学年の生徒は長距離を重たいランドセルを背負って登校するのは大変だと思えます。バスを使用しての登校が出来ればいい。</p>	<p>③学級が楽しい場所となればそこまで問題ではなくなると思う。</p>	<p>④中1ギャップの解消（進学がスムーズになり学力面、生活面の不安が軽減される）</p> <p>④学習の継続・定着（9年間の学習計画に基づき継続的な指導が可能）</p> <p>④幅広い年齢層との交流（小学生の憧れや中学生の思いやりといった社会性が育まれる）</p> <p>④教員との継続的な関係（同じ教員が見守ることが出来るため、一貫した指導と安心感が得られる）</p> <p>⑤限られた予算でも施設を充実させることができる。建築コストを抑えることができる。</p>	<p>④人間関係の固定化（人間関係がこじれた場合の影響が長く続く可能性がある）</p> <p>④リーダーシップの発揮の機会が減少（小学生高学年のリーダーシップの機会が少なくなりがち）</p> <p>④けじめの機会減少（小学校の卒業式がないため、学びの区切りやけじめがつきにくいと感じる可能性がある）</p> <p>⑤小学生の遊ぶ声や、中学生の勉強を妨げることはないのか。体格の違いすぎる小学生と中学生が自由に過ごした場合（自由時間の校庭など）、危険ではないのか。</p> <p>⑥体育館・水泳等の授業時に問題が出ないかが心配である。2施設毎作るのであれば問題ない。</p>	<p>③2小のように明るい校舎への建替えもできたら相乗効果はあると思う。</p>
	霞台中学校	<p>③各校ほぼ均等になっており、問題ないと思います。</p> <p>④今のところ A 案も B 案も適正な児童・生徒数を確保でき、勉強する環境も整うと思う。デメ</p>	<p>①通学負担増、新町3丁目から霞台小学校への通学時間は25分となっているが、実際の通学経路(2km超と推測)と小学1年生の歩速(時速4km)を考えると</p>	<p>②小学校からの進学先の統一は良い</p> <p>③東部 I 地区のほぼ中央に配置されており、配置・通学の問題はないと思います。</p>	<p>②一部の小学生（1・2年生）の通学が長距離となり大変である（交通事故等）。小中一貫校2校は良い。</p>		<p>②施設分離型は小学生・中学生が同じ空間で生活することから、交流の機会が増え、助け合いの気持ちが育まれる。</p> <p>③小学校の児童がそのまま中学校の生徒になるので、いいので</p>	<p>②2校あれば転校できる</p> <p>③小中一貫校①について、従来の1校の敷地に2校分の施設を統合するため、小中での体育館や校庭等の使用調整が大変にな</p>		

	学校の規模			学校の配置・通学			小中一貫教育		
	メリット	デメリット	その他	メリット	デメリット	その他	メリット	デメリット	その他
	<p>リットは感じない。</p> <p>⑥河辺小と統合して一体型一貫校となれば、生徒数・学級数ともに倍増となる。当面は生徒数・学級数が安定的な数値になるため、校舎を建て替えた場合の費用対効果はこちらが大きいと考えます。</p>	<p>過小評価ではないか。</p>		<p>④徒歩30分が子供にとって大変になる。自転車や公共交通手段も学校外の事なので、スクールバスの検討も必要となる。</p> <p>⑥河辺小の位置に小中一体型一貫校ができると、エリアのほぼ中央付近であるので、生徒の通学負担は増えないか逆に減ると思います。</p>			<p>はないかと思いません。デメリットは十分許容範囲と思います。</p> <p>④縦のつながりが広がると思う</p> <p>⑤施設一体型①校では、情報共有が早くなる。</p> <p>⑤施設一体型②校では、隣接する学校なので一体型にする方が運用しやすい。</p> <p>⑥施設一体型では、小学生がそばにいたので、生徒達に模範にならないといけないとの意識が芽生える。</p> <p>中学生になるときの緊張感や不安、抵抗感のようなものが薄らぐ。</p> <p>小さい子と普段から接することで、思いやりの気持ちを育むことができるのではないか。</p>	<p>るかもしれません。</p> <p>④6～15歳が同じ学校…教育がその学年ごとにできるのか不安</p> <p>⑤施設一体型①校では、限りある敷地なので小学生、中学生の活動を補えない。校舎に関しても学校規定から建設が難しい。</p> <p>⑥小中学生が学校施設を同時に使用すると、大きさや広さ等をよく考えておく必要があるかと思いません。</p>	
泉中学校	<p>③一定の集団規模が確保されるのは良い</p> <p>④児童数・学年数に問題はないと思います。</p> <p>⑤人数確保</p> <p>⑥1学級の児童・生徒数は国の基準で決められており、意見の余地はないものと思っています。そこから計算された1学年、学校全体の学級数は、現在と同等もしくは若干大きくなる程度のため、抵抗感もなく、適正であると思います。</p> <p>⑦児童・生徒数の規模の観点から見ると評価できる案である。</p>		<p>②東部1地区再編案A・Bともに同じ状況である。</p>	<p>③小学校からの進学先が統一されるのは良い。同じ場所に小中があるので（一体型）連携しやすい。</p> <p>⑤今の学校を使用出来る</p> <p>⑥若草小を残す提案があればまた違いますが、案A・Bともに学校の位置は大きく変わらず、いずれも現行の学区や校舎を活かす考えのもとで妥当であると思います。</p> <p>⑦学校再編にともなう新たな学校の設置という観点から、児童・生徒とその保護者にとっても気持ちの切り替えがしやすいのではないか。</p>	<p>③若草小学区の子どもたちは今まで線路も青梅街道も渡らず通学できたが、河辺小・霞台小に分かれると安全性が不安。</p> <p>④新町3丁目からの通学が不安</p> <p>⑤徒歩25分（低学年）にとっては厳しいのでは、安全面（交通の便）は大丈夫か？</p> <p>⑥子ども達の通学負担についてです。一番遠い新町3丁目付近からも霞台小へは歩けない距離ではないとは思いますが、やはり通学中の安全が心配です。子どもが少なく、地域とのつながりも少ないご家庭が多いと思いますので、集団登校なども難しいのかと思います。他地域に比べ、通学距離は近いものとは思いますが、それでも6歳児が（低学年のうちには月齢で大きな差がありますので、6歳になったばかりの子を考慮していただきたい。）が徒歩でとなれば、保護者の不安は大きいと思います。共働き、核家族など、言われて久しいですが、付き添い登校などは多くの家庭が困難です。子どもの安全が家庭環境に左右されないように、また家庭への負担を軽減するために、スクールバス等の検討は当地区においてもしていただきたいと思えます。</p>	<p>②東部1地区再編案A・Bともに同じ状況であるが、ともに新町4丁目地区の小学生を新町小へ学区を変更することが望ましい。（四小から霞台中への変更と同じ考え方）</p> <p>④霞台小と泉中は隣接しているので、このままで良いと思う。</p> <p>⑥現在は東部1地区のみでの検討ですが、例えば若干、学区変更をして、最も遠くなる地域のみ東部2へなど、再編案に合わせて、学区の調整もしていただければ、通学負担も軽減されますし、より保護者にご理解をいただける提案になるのではと思えました。</p>	<p>③（一体型）学校数が4ではなく2になるので、建設費用を抑えられる。跡地を有効利用できる。</p> <p>⑥河辺小、霞台中が敷地内で一体となる提案は、小中一貫教育への期待が高まります。</p> <p>⑥保護者目線で言えば、小中が近ければ近いほど複数の児童生徒がいた場合はメリットが大きいと思います。災害時の引き取り、学校行事、定期的にある面談など、同じ場所で一度に済めば大変ありがたいと思います。また、子どもにとっても、先生方を知っている、雰囲気がわかるなど安心感につながりますし、進学への見通しが持ちやすいと思います。</p>	<p>③（一体型）小中で安全に生活できるか不安（河辺小の場所に河辺小・霞台小を作る場所）。</p> <p>③子どもの数が減少すれば、うまく棲み分けができるのでしょうか？（校庭・体育館の共用など）</p> <p>⑥隣接型となる霞台小、泉中はどれほどの効果があるのかは疑問です。</p>	